

## 2 地域メッシュ統計地図でみる福岡県の人口

平成27年国勢調査人口等基本集計結果から、人口増減数の多い市町村のうち、人口減少数が1位の北九州市、人口増加数が2位の福岡市が属する福岡県に着目してみます（表1）。

表1 人口増減数の多い市町村の人口及び人口増減数（平成22年～27年）

順位	人口増加数の多い市町村			人口減少数の多い市町村		
	人口増加数の多い市町村	人口（人）平成27年	増加数（人）平成22年～27年	人口減少数の多い市町村	人口（人）平成27年	減少数（人）平成22年～27年
1	東京都特別区部	9,272,740	327,045	福岡県北九州市	961,286	-15,560
2	福岡県福岡市	1,538,681	74,938	長崎県長崎市	429,508	-14,258
3	神奈川県川崎市	1,475,213	49,701	宮城県石巻市	147,214	-13,612
4	埼玉県さいたま市	1,263,979	41,545	北海道函館市	265,979	-13,148
5	北海道札幌市	1,952,356	38,811	福島県南相馬市	57,797	-13,081
6	宮城県仙台市	1,082,159	36,173	山口県下関市	268,517	-12,430
7	神奈川県横浜市	3,724,844	36,071	青森県青森市	287,648	-11,872
8	愛知県名古屋市	2,295,638	31,744	神奈川県横須賀市	406,586	-11,739
9	大阪府大阪市	2,691,185	25,871	広島県呉市	228,552	-11,421
10	広島県広島市	1,194,034	20,191	静岡県静岡市	704,989	-11,208

注）原子力災害により、全域が避難指示区域である町村を含めない。

出典：「平成27年国勢調査人口等基本集計結果」（総務省統計局）

### （1）福岡県の市区町村別人口増減

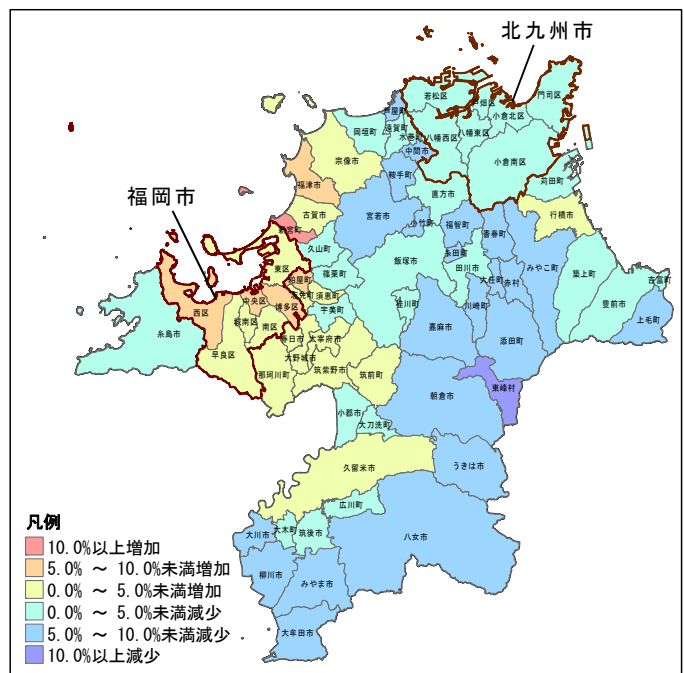
市区町村別に人口増減数（平成22年～27年）をみると、北九州市は全ての区で人口が減少しており、福岡市は全ての区で人口が増加しています（表2、図3）。

表2 市区町村別人口増減数及び人口増減率  
－北九州市・福岡市（平成22年～27年）

市区町村	人口平成27年（人）	平成22年～27年の人口増減数（人）	平成22年～27年の人口増減率（%）
北九州市 門司区	99,637	-4,832	-4.6
北九州市 八幡東区	68,844	-2,957	-4.1
北九州市 戸畑区	59,116	-2,467	-4.0
北九州市 若松区	82,844	-2,323	-2.7
北九州市 小倉南区	212,850	-1,943	-0.9
北九州市 八幡西区	256,117	-980	-0.4
北九州市 小倉北区	181,878	-58	-0.0
福岡市 城南区	130,995	2,336	1.8
福岡市 早良区	217,877	6,324	3.0
福岡市 南区	255,797	8,701	3.5
福岡市 西区	206,868	13,588	7.0
福岡市 東区	306,015	13,816	4.7
福岡市 中央区	192,688	14,259	8.0
福岡市 博多区	228,441	15,914	7.5

出典：「平成27年国勢調査人口等基本集計結果」（総務省統計局）

図3 市区町村別人口増減率  
－福岡県（平成22年～27年）



## (2) 福岡県の地域メッシュ別人口分布

基準地域メッシュ別に、人口総数（平成27年）と人口増減数（平成22年～27年）をみると、市全体としては減少している北九州市においても、人口が増加している地域があります。また、市全体としては増加している福岡市においても、西側の地域では人口が減少している地域があることが分かります（図4、図5）。

図4 基準地域メッシュ別人口総数  
—福岡県（平成27年）

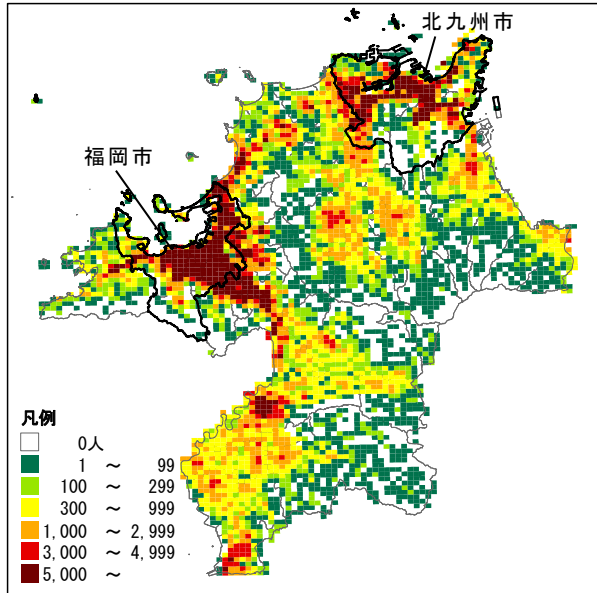
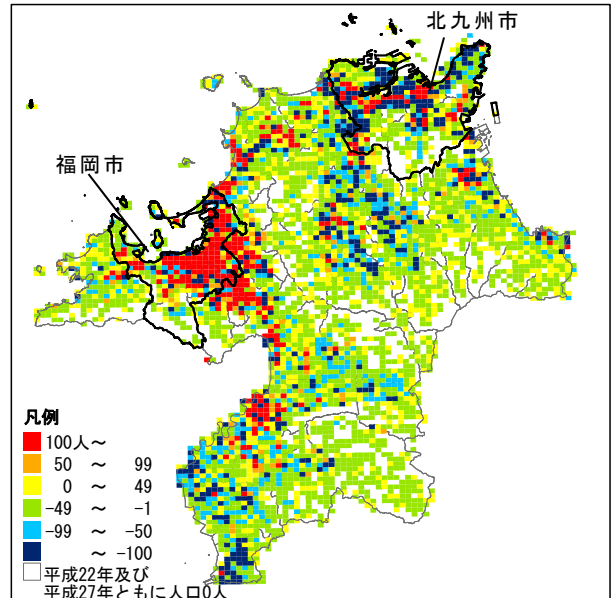


図5 基準地域メッシュ別人口増減数  
—福岡県（平成22年～27年）



## (3) 福岡県新宮町の地域メッシュ別人口分布

福岡県内における基準地域メッシュ別の人口増加数のうち、福岡市西区の2メッシュに次いで増加数が多いメッシュがある新宮町について着目してみます（表3、図6）。

表3 福岡県における基準地域メッシュのうち  
人口増加数の多い上位10位（平成22年～27年）

地域メッシュ・コード*	人口平成27年(人)	平成22年～27年の人口増加数(人)	平成22年～27年の人口増加率(%)	地名	主な施設等
5030-22-91	8,866	4,119	86.8	福岡市西区	今宿駅
5030-22-90	8,458	3,407	67.5	福岡市西区	九大学研都市駅
5030-43-55	6,271	3,195	103.9	新宮町	新宮中央駅
5030-23-92	25,778	2,989	13.1	福岡市中央区	西鉄薬院駅
5030-33-75	11,969	2,526	26.7	福岡市東区	千早駅
5030-23-93	21,531	2,510	13.2	福岡市博多区	博多駅南
5030-23-64	16,784	2,122	14.5	福岡市南区	西鉄大橋駅西口
5030-65-77	3,243	1,989	158.6	北九州市八幡西区	北九州学術・研究都市北部地区
5030-23-91	21,474	1,965	10.1	福岡市中央区	地下鉄薬院大通駅
5030-23-74	11,965	1,821	18.0	福岡市西区	九州大学大橋キャンパス

図6 基準地域メッシュ別人口増減数  
—福岡市周辺（平成22年～27年）

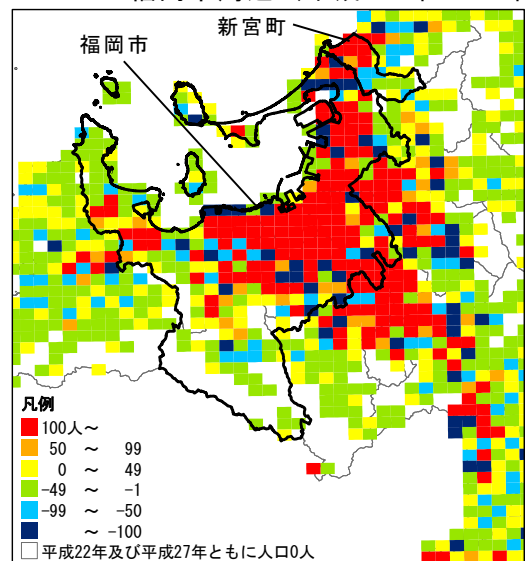
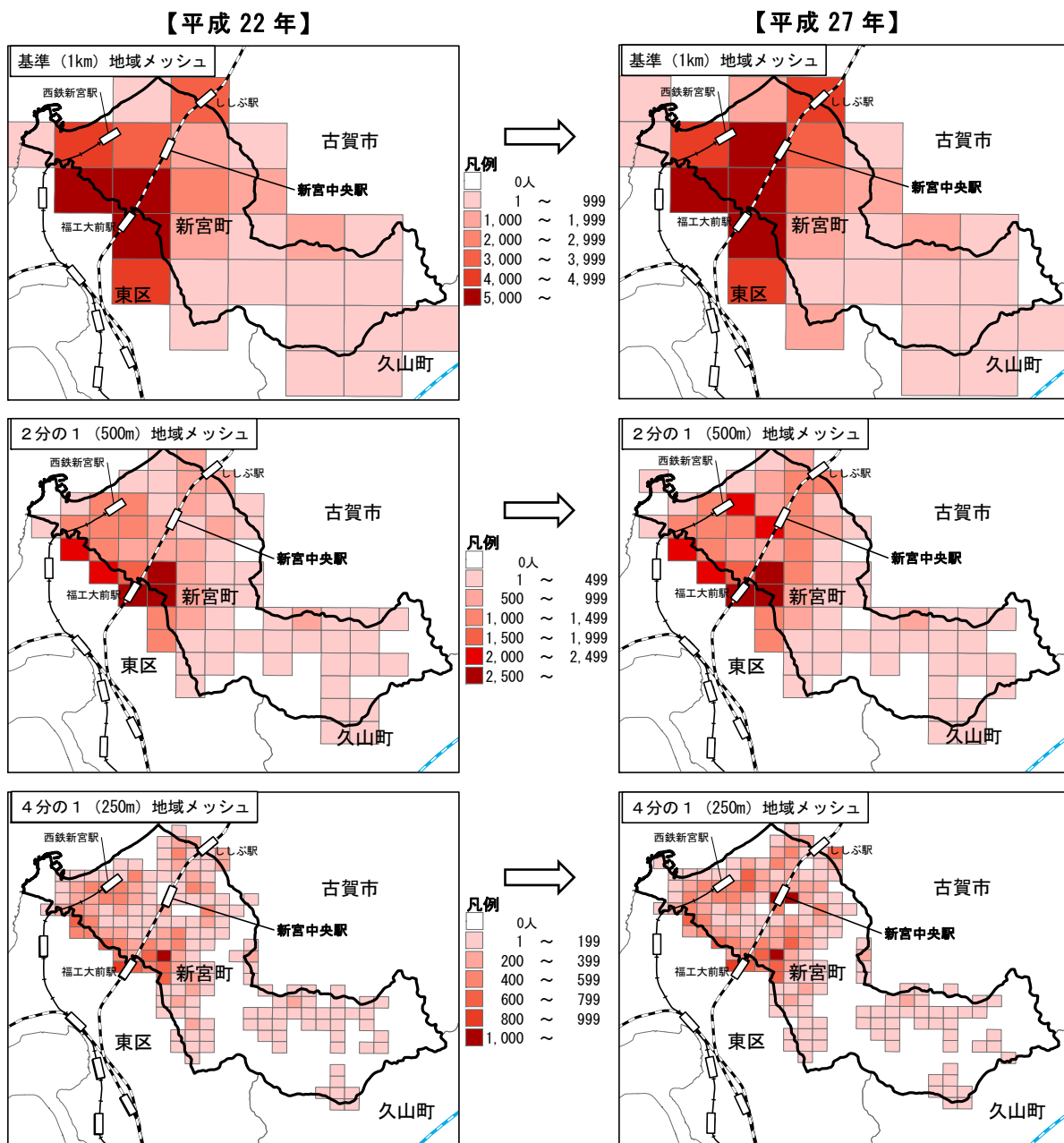


図7は、新宮町の人口総数について、3種類の地域メッシュ区画で地図に表したものです。基準地域メッシュでは、町内でも西側に人口が多いことが分かり、より区画の小さい2分の1地域メッシュでは、西側の地域でも人口の分布状況に差があることがわかります。

さらに、4分の1地域メッシュで平成22年と平成27年を比較すると、平成22年3月に開業した新宮中央駅付近で人口増加が顕著であることがわかります。この地域では、駅の開業を契機として、マンション建設など都市開発が進み人口が増えていると思われます。

図7 地域メッシュ別人口総数－新宮町（平成22年、27年）



このように、全国や都道府県単位など大きな範囲には基準地域メッシュ、市区町村などの比較的小さい範囲には2分の1や4分の1地域メッシュと、地域メッシュを使い分けることにより様々な視点から地域の実態を把握することができます。